

# JAかつの自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともにJAかつのは総合事業を展開します。

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。

このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。

そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合等は、組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者(正組合員)が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

◇ JAかつのでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けて、かつの産農畜産物のブランドアップに取り組んでいます。

【米穀販売高 16 億円、園芸販売高 12 億円、畜産販売高 5 億円】

- ・「淡雪こまち」「秋のきらめき」の里づくり
- ・「紅あかり」など、りんごの産地維持
- ・「北限の桃」「きゅうり」「とまと」の産地面積拡大
- ・「枝豆」等の県産地化
- ・「新テッポウユリ」「スナップエンドウ」の品目推進 など

営農指導事業の主な取り組みは次のとおりです。

- ・生産者への巡回指導、相談
- ・生産部会への支援
- ・担い手の育成、支援
- ・生産者大会の開催
- ・各種講習会、研修、土壌診断等 など 【予算額 10,700 千円】

◇ JAかつのでは、「地域の活性化」に向けて各種イベントを開催しています。

- ・地域住民がふれあう農業のイベントとして、JAまつり(毎年 9 月)を開催
- ・食と農の大切さを学ぶ食農教育として、ちゃぐりん農園(毎年 5 月～)や、地産地消フェスタ(毎年 11 月)を開催 など 【予算額 1,000 千円】